

静内産馬の活躍



6月28日、大井競馬場で開催された「第40回帝王賞」(JpnI ダート2000m)で岡野牧場生産のケイティブレイブ号(牡4歳 父アドマイヤマックス 母ケイティローレル)が、ダート部門の実力馬たちが全国各地から集う上半期のグランプリレースを制しました。

レースは、後方からの競馬となつた福永祐一騎手騎乗のケイティブレイブが、直線で外から一気に脚を伸ばして、2番手追走から一旦は先頭に立ったクリソライトを捕らえ、見事優勝。勝ちタイム(2分4秒4)



第40回帝王賞・大井交流(G1)
優勝 ケイティブレイブ号

7月12日、大井競馬場で開催された「第19回ジャパンダートダービー」(JpnI ダート2000m)でクランド牧場生産のヒガシウィルウィン号(牡3歳 父サウスヴィグラス 母プリモタイム)が南関東3歳クラシック三冠レースの最終関門、地方・JRA共にトップクラスの3歳馬が結集する「砂のダービー」を制しました。

レースは、中央勢が先行していく中で5・6番手を追走、残り200m付近で中央勢と横並びとなり、内からサンライズソアが一步抜け出たところにヒガシウィルウィンも襲い掛かり、最後クビ差でゴール。勝ちタイム(2分5秒8)



第19回ジャパンダートダービー(G1)
優勝 ヒガシウィルウィン号